

ZOZO マリンスタジアムのリノベーション

Symbol Renovation Proposal

佐藤信治¹, ○小林弘真²Shinji Sato¹, *Hiromasa Kobayashi²

The ZOZO Marine Stadium has become a symbol of Makuhari and has connected the memories of the history and culture of the surrounding area. It also plays an important role in making a strong impression on visitors as well as being familiar to residents. However, due to the aging of the stadium, there has been talk of relocation, and it has become difficult to pass on the memory of the land.

This proposal explores and renovates the ZOZO Marine Stadium in a way that solves the problems of the community and makes the stadium a necessity for the community and a sustainable construction.

1. はじめに

ZOZO マリンスタジアムでは幕張のシンボルとなり、周辺地域の歴史や文化の記憶をつないできた。また、住民に親しまれるとともに、来訪者に強い印象を与える重要な役割を持っている。しかし、スタジアムの老朽化により、移転の話が上がり、土地の記憶の継承が困難になっている。

本提案はZOZO マリンスタジアムの新たな利用法を模索し、リノベーションを行う。その中で地域の問題点を解決し、スタジアムが地域にとって必要となる存在になり、持続可能な建築となる計画をする。

2. 計画背景

2.1 計画敷地

計画敷地として、千葉県千葉市美浜区の幕張海浜公園にある「ZOZO マリンスタジアム」を選択する。1992年よりプロ野球チームの千葉ロッテマリーンズが本拠地とするスタジアムであり、野球以外にもスポーツイベントを中心に利用され、幕張のシンボルとなっている。幕張新都心では他にも、イオンモールや幕張メッセなどの様々な施設が集積しているが各施設が木々に囲まれ独立しており、施設間距離もあることから、横連携がないことが課題となっている。



Figure 1. Planned area



Figure 2. ZOZO Marine Stadium

2.2 ZOZO マリンスタジアムの現状

竣工後 30 年以上が経過していることに加え、塩害による影響等もあり、施設の劣化が大きな課題となり、解体、移転の話が上がっている。現在いくつかのパターンで検討されているが、新スタジアムの建設の場合はおよそ 10 年間事業スケジュールが検討されている。スタジアムの基本データは以下に記す。

建築面積：22,950.60 m² (屋内練習場含む)

敷地面積：81,205.75 m²

延床面積：48,444.00 m²

容積率：59.6%

2.3 幕張海浜公園の歴史

現在幕張新都心がある場所は浅瀬の干潟で「浮島の駅」と呼ばれていた。1945年、政府は食料増産のための緊急開拓事業のひとつとして幕張の埋め立てを閣議決定され、1964年に60haの造成が完成した。1979年、埋め立てで失われた自然を取り戻すべく人工海浜が設けられ、「幕張の浜」がオープン、1987年に新都心のオアシス、幕張海浜公園の一部がオープンした。総面積68.4haあり、7つのブロックに分かれ、海、緑、スポーツ、国際交流などのテーマごとに整備された。1990年、千葉マリンスタジアム(のちのZOZOマリンスタ

1: 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

2: 日大理工・学部・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

ジウム) , 日本庭園「見浜園」, 2020年, 「JFA 夢フィールド」が開設され, 緑と海と街が魅力的に融合するシティパークとなり現在へと至る。

2.4 幕張の浜

幕張の浜は, 埋め立てによって失われた自然を復元するため, 1979年に開設された人工海浜とクロマツの林. 南へ検見川の浜, いなげの浜と連続し, 総延長4320m, 人工海浜日本一の海岸線を生み出している. 当初は海水浴場として営業をしていたが, 砂の流失防止にかかる費用, 離岸流などの影響により2000年以降遊泳が禁止されている. 現在は流木が散乱し, 歩道のガードレールの腐食など荒れ果て, 浜へ出る道の封鎖などの影響もありイベントなど以外で訪れる人は少ない。



Figure 3. Makuhari Beach



Figure 4. Corroded fences

3. 建築計画

3.1 基本方針

ZOZO マリンスタジアムの機能を失った後のリノベーションにおいて, 人工海浜での砂の流失や海との関係の回復, 幕張海浜公園のアクセシビリティ向上などの課題解決を目指す. 同時に, 訪問者を引き付けるための複合施設の導入を提案し, 新たな収益源を創出する. これにより, 持続可能な建築として幕張のシンボルとなる提案をする.

3.2 導入機能

1) 人工海浜を有したプール 2) 宿泊施設 3) 発電施設 4) 展望デッキ

3.3 人工海浜を有したプール

砂浜の流失を防ぎつつ保存するため, 現在のグラウンド部分には人工海浜を備えたプールを配置する. このプールは, マリンスポーツや水辺のレクリエーションを楽しめる空間として機能し, かつての海水浴場のような賑わいを再現する. また, プールは四季を通じて利用可能とし, 夏季には海水浴を楽しめる場所として, 冬季にはイベントを行える多目的空間として活用し, 年間を通して訪れる人々に魅力を提供します. 地域の活性化や観光誘致を図り, 海との関係性を再構築しながら, 幕張エリア全体のシンボリックな存在を目指す.

グラウンド面積: 約 14,182 m²

3.4 宿泊施設

現在の客席部分に, 本提案の収益の中心となる宿泊施設を階段状に設ける. 客室から直接砂浜に降りられるアプローチを行い, 人工海浜の利用を促す. 計画客室規模は以下に記す.

客室面積: 約 30 m²

客室数: 約 250~300 室

3.5 発電施設

施設内の電気を賄う発電施設を設ける. 計画敷地が海に面していることから, 太陽光発電, 風力発電, また, 海水を利用した揚水水力発電を検討している. 揚水水力発電は現在の二階フロアの客席部分を貯水槽として利用することを考える. 発電の際に発生する波を利用した人工サーフィン施設を設けるなど, 水の循環を利用することを検討している.

3.6 展望デッキ

スタジアムにより幕張海浜公園の分断を防ぐために, 公園内を循環でき, 海への景観を眺望できる展望デッキを配置する. 公園内の回遊性を生み出し, 海辺へのアプローチを行う.

4. 参考文献

- [1] 千葉県千葉市公式ホームページ 2024/9/24
<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/makuhari/makuharishintoshingaiyo.html>
- [2] Google マップ
<https://www.google.co.jp/maps>
- [3] ZOZO マリンスタジアム (千葉マリンスタジアム) のあり方検討基礎調査結果 2023/7
https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/marinesais eibi/documents/marinstadium_kisotyousa.pdf
- [4] 千葉ロッテマリーンズ公式ホームページ 2024/9/24
<https://www.google.co.jp/maps>